



「実りの秋」にするために

楠中生のみなさん、今年の夏休みも「暑い夏休み」でした。38日間(912時間)を振り返って『頭と心の偏差値』は上がりましたか。

「ひとは、夏育つ」と言われます。楠中生もこの夏休みに「学習」「部活動」「地域行事」等にひたむきにがんばってきたはずです。きっと「**すてきな大人**」へ成長しています。

数年前の夏休みの終わりに、薬師寺という有名なお寺の執事長である大谷徹栄さんの講演を聴いたことがあります。

薬師寺というお寺は「**お墓がなく、葬儀をしない**」お寺ということでした。薬師寺の存在意義は「**心**」を徹底的に鍛えるところにあり、薬師寺は「**心の学校**」とされているそうです。

自分次第で「**心は変えることができる**」と語られていました。その大谷さんが決して使わない言葉があります。それが「**面倒**」という言葉です。「面倒くさい」と思うと人の頭(面)は下を向く(倒れる)、つまり人の話を聴かないことになります。顔を上げて人の話を聴いていると、大切なことが分かってきて、どんどん面白くなり、心も変わってくるということです。顔を上げて人の話を聴くことのできる人へ楠中生には成長してほしいと願っています。

さて、これからいよいよ2学期がスタートします。まだまだ暑いですが、暦の上では「**秋**」を迎えています。この「**秋**」を「**学問の秋**」「**芸術の秋**」「**スポーツの秋**」などと表現します。米をはじめとする多くの農作物が実る秋は「**実りの秋**」とも表現されます。この「**実りの秋**」は、農作物だけの話ではありません。気候のうえでも過ごしやすく、落ち着いて物事に取り組めることができ、「前期期末テスト」「新人戦」「くすのき祭」「職場体験学習」「各地区の運動会」等の行事のある秋は、楠中生にとっても「**実りの秋**」となります。

楠中生にとって「**実りの秋**」にするために、「**心**」を変えて物事に取り組んでいきましょう。そして、心を変えるために「**4C 精神**」を意識して行動してみてください。

- ① 「**CHANCE**」(チャンス) 学校生活のあらゆる場面で
- ② 「**CHALLENGE**」(チャレンジ) 失敗を怖がらずに 積極的・主体的に
- ③ 「**CHANGE**」(チェンジ) 心の持ち方を変える 今までの自分ではない
- ④ 「**CONTINUE**」(コンティニュー) 継続は力なり

「**4C 精神**」を楠中生のスタンダードにしていき、「**自分史上最高の2学期**」にしていきましょう。君たちの活躍が楽しみです。**やればできる!君たちならできる!**

【2学期始業式校長式辞から】

ひとは、**夏**育つ

ひまわりが、気づけば

人の背をこえているように

ひと夏で顔つきが

全く変わっている人がいる

動くだけでクタクタになるほど暑いのに

人は恋に落ち、スポーツに打ち込み、

仕事に燃えて、旅に出て、

夏は、1年でいちばん人間を

成長させる季節かもしれない

「星空の団結」～ただいま会員募集中！毎晩9時に星に願いを！～

1学期の終わりに、楠中では「七夕飾り」を行いました。楠中生及び楠中教職員が短冊に願いごとを書き、飾りました。いろいろな願いごとが書かれていました。世界平和を祈る願いごともありました。3年生の短冊には「受験」にまつわる願いごとが多数ありました。「人生最初の試練」と言われる高校受験が近づいてきています。



夏休み中に行われた「楠中未来塾」、1・2年生の参加に比べて、3年生の参加は大変多かったです。3年生の受験に対する意識の高さの現れだと感じました。受験勉強を一人でやり続けるのはなかなか困難で、仲間と切磋琢磨しながら取り組むことが大切になってきます。しかし、家庭では一人でがんばるしかありません。

家庭において、夜、勉強していて、ふと空を見上げると満天の星空が広がっています。船木・万倉・吉部の星空は間違いなくすてきです。そこで、学習に疲れた時、気分転換に星を眺めてみましょう。なぜなら…

1. 新鮮な空気を吸うことでリフレッシュできる
2. 目が覚める
3. 自分の不安や焦りがちっばけに感じる
4. きっと仲間も星空を眺めている

ということに繋がるからです。

「星空の団結」、毎日9時ジャストに空を見上げ、星を眺め、「私はがんばる！みんなもがんばって！」と祈りましょう。晴れて星空が見える日はもちろんですが、曇りの日も雨の日も毎日です。苦しいのは自分だけではない。「受験は団体戦」、みんなもがんばっている。自分もがんばるです。

私は「令和8年度楠中星空の団結会員 No.1」です。今日から毎日願います。携帯のアラームをセットしました。ガンバレ楠中3年生！1・2年生は応援しましょう。やればできる！君たちならできる！山口県公立高等学校入試（令和9年3月9日）まであと195日です。

縁を紡ぎ、絆が生まれる～「繋がり」が広がった夏休みでした！～

7月28日（火）に厚東川中学校との生徒会交流会を本校で開催しました。両校の生徒会役員が活発に意見交換を行い、お互いに刺激を受けるよい機会となりました。

また、8月18日（火）の「楠中未来塾」にサビエル高等学校から9名（楠中 OB・OG4名）が指導者として参加しました。学習面だけでなく、高校生活についても教えてもらい、有意義な時間となりました。

楠中学校にとって「繋がり」が広がった夏休みでした。「縁」あって、厚東川中やサビエル高等学校との「繋がり」が生まれました。「縁」は「繋がり」が深まると「絆」へ変わります。この「絆」がこれからの楠地区を支える大きな力になり、「楠中魂」に繋がってきます。

「縁を紡ぎ、絆が生まれる」楠中生、大切にしていきたいでしょう。

やればできる！君たちならできる！

